

令和8年度 基本方針・重点施策

基本方針

我が国唯一、47都道府県に支部を持つ全国組織としての「責任と誇り」を自覚し、「伝統と改革の精神」のもと、社会のニーズを的確にとらえた諸施策を推進し、もって「希望あふれる塗装工事業」として業界の持続的な発展と豊かな国づくりに貢献する。

重点施策

基本方針に基づき、次の重点施策を推進する。

1. 処遇改善や雇用環境の更なる向上を図る
2. 技能者の育成と新たな技能伝承手法の確立に取り組む
3. 効率化を図り付加価値を高めた業務の提唱を行う
4. 多様な人材が力を発揮できる環境を整備する
5. 安全と健康を守る職場環境の実現を目指す
6. 業界の認知度向上を目的に情報発信力を強化する

重点施策の展開

1. 処遇改善の実現に向け、適正な労務費と休日の確保、不当廉売の排除等について、関係機関と連携し、発注者や元請に対して継続的かつ全国的な働きかけを行う。あわせて会員企業に対し、内訳を明示した標準見積書の活用を促し、必要な労務費や安全衛生経費が適切に反映されるよう周知・啓発を行う。
2. 技能者が切磋琢磨する機会として全国建築塗装技能競技大会を企画・開催するとともに、技能の体系化や映像・ICTの活用、省力化ツールの導入などによる新たな技能伝承の手法を検討する。
3. 事務作業や施工管理等の効率化について、AIやICT、機械化、省力化技術などの観点から情報を収集し、短時間でも品質と安全を確保できる施工の考え方や事例を発信する。これらの共有を通じて生産性と付加価値向上の取り組みにつなげていく。
4. 外国人、女性、シニアなど多様な人材が安心して働ける制度や仕組み、異文化の理解や安全教育、適材適所の配置等について調査研究する。次世代を担う人材育成の取り組みを支え、人手不足への対応につなげていく。
5. 猛暑対策としてWBGTの活用、休憩体制の整備、空調服・送風機の使用等を周知徹底し、熱中症ゼロを目指す。また、産業廃棄物の削減、各種有害物質への対応などの情報を共有することで持続可能な環境づくりに貢献する。
6. 塗装の役割や職人の技、現場における工夫や安全への取り組みをウェブサイトやSNS、各種媒体を通じて継続的に発信し、消費者や若い世代に塗装の魅力を伝えることで、業界への理解促進と社会的評価の向上を図り、将来の担い手確保につなげていく。